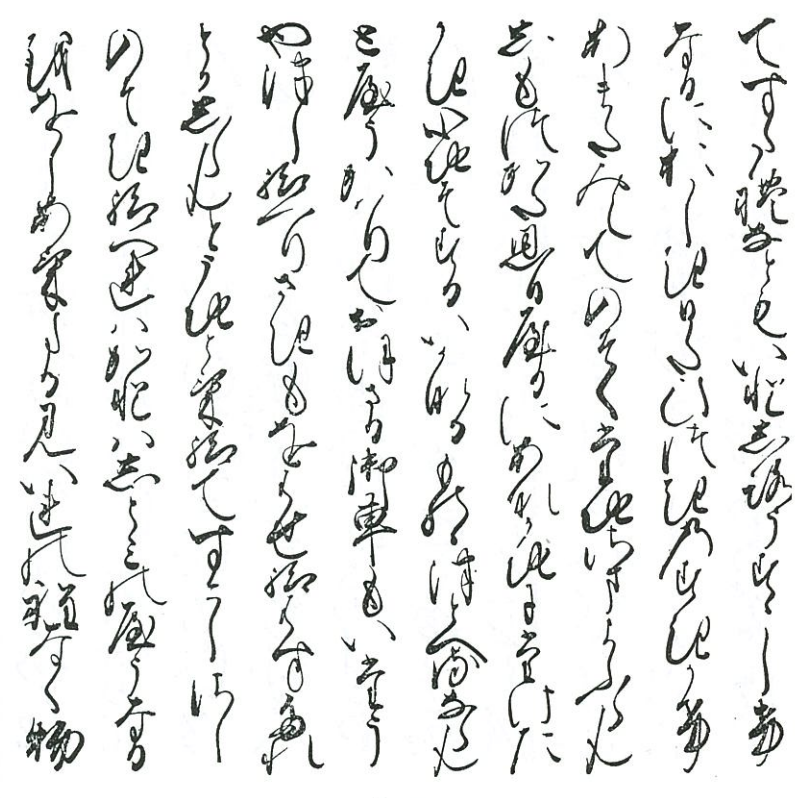
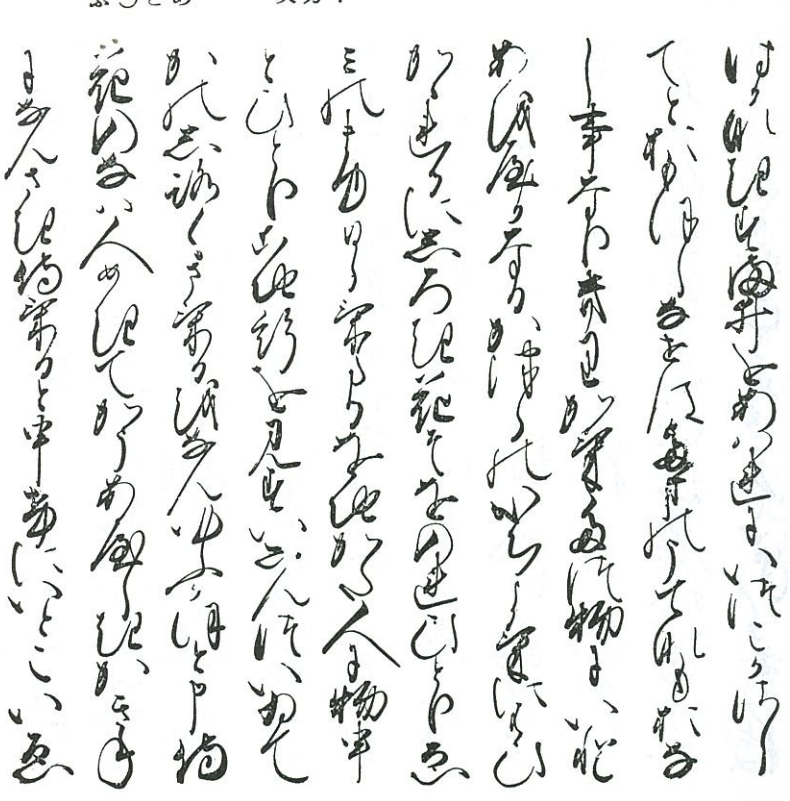


やつす―形をわろくして忍び紛らはすをいふ…　俗言にミスボラシクスルといふ意也（評釈）

見いれ―外より見入れたる所の奥深からぬ意也（評釈）

いづこかさして―古今集巻十八雑歌下「世の中はいづこかさしてわがならむ行き止まるをぞ宿　定むる」

をちかた人に物申す―古今集巻十九、雑躰歌、旋頭歌「打渡す遠方人に物申すわれそのそこに白く咲けるは何の花ぞも」

人めきて―顔といふにつきて人めきてとはいへる也、己れひとりといへるより縁の詞味ぶべし（評釈）名斗は人々しき心也、かほといふにつきていへるにや（細流抄）